

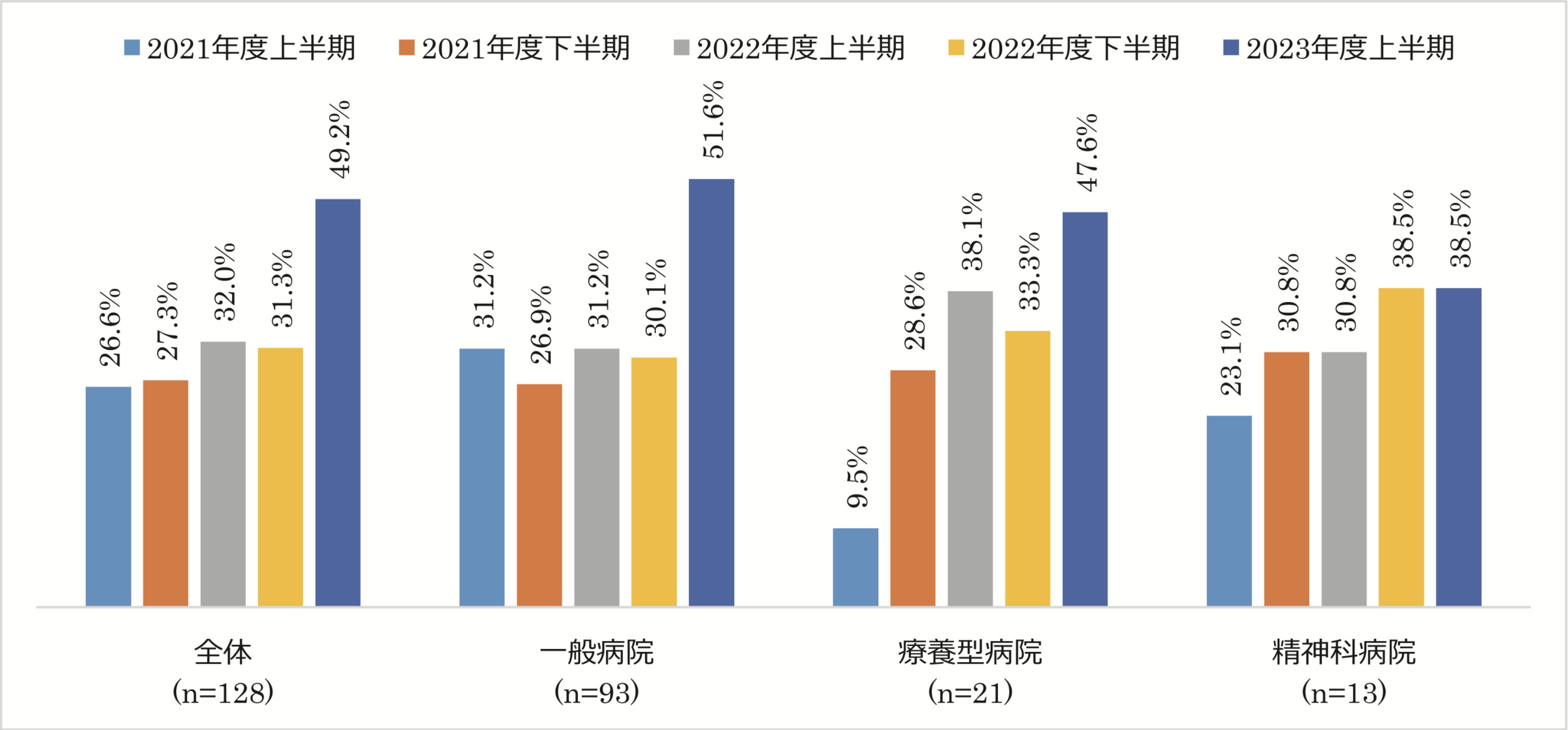
東京都独自の入院基本料

2024年 9 月10日定例記者会見
東京都医師会 土谷明男



都内病院の経営状況（類型別）

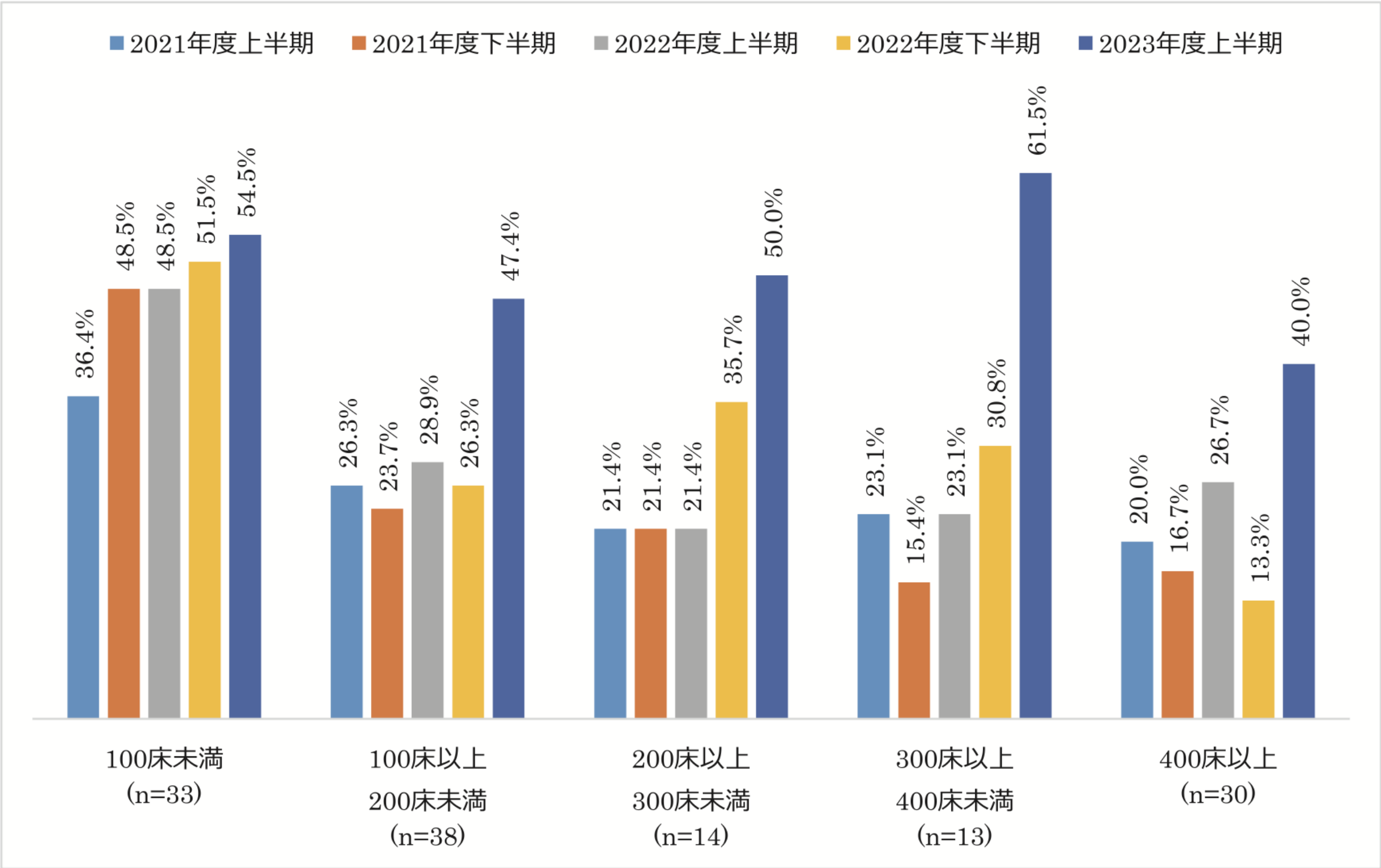
○病院類型別 赤字割合の推移



- 赤字割合の比率が上昇している（一般病院は半数を超える）

都内病院の経営状況（病床規模別）

（図表 50）病床規模別 赤字割合の推移



- いずれの病床規模でも赤字割合の比率が上昇している

なぜ都内病院の経営状況は厳しいのか？

- 収入：全国一律の診療報酬
- 支出：人件費、地価、物価は地域によって異なる
 - ➡近年、支出が増大している

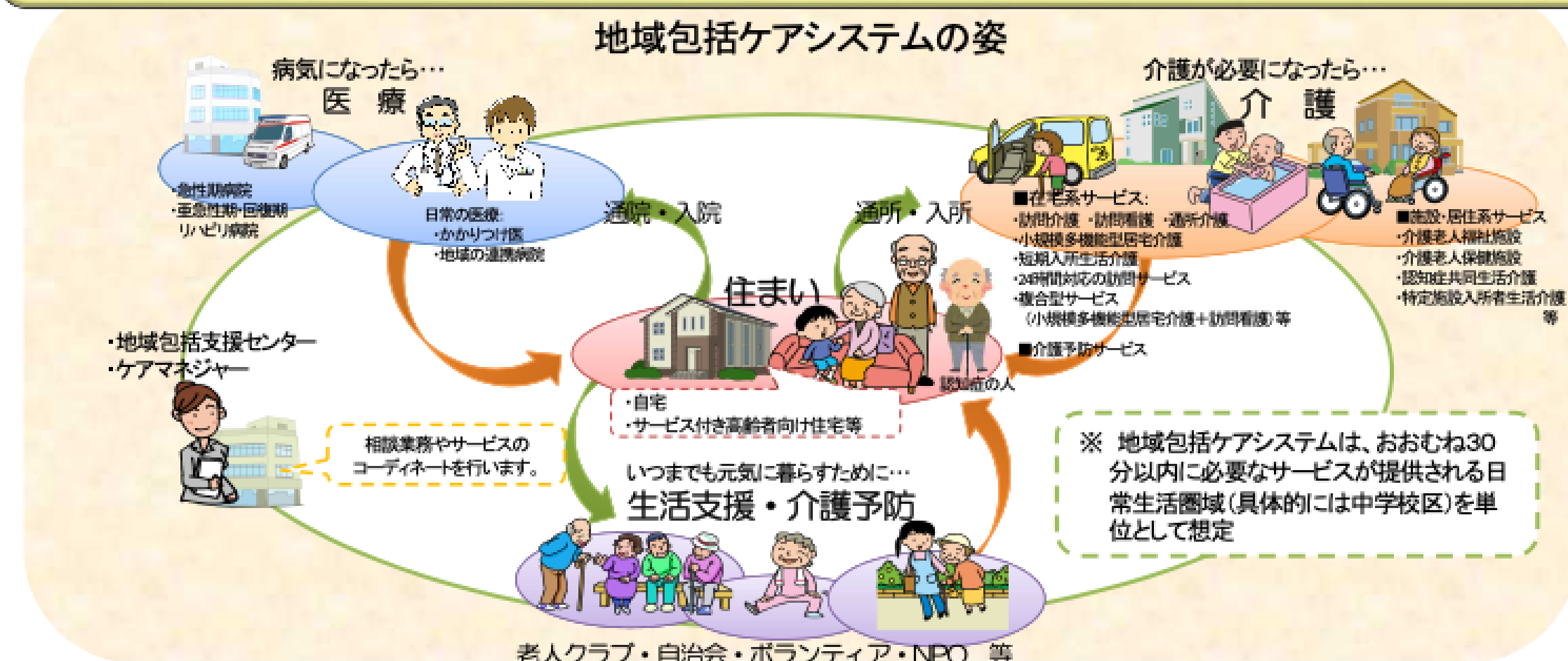
地域包括ケアシステムは地域の病院が担っている

高齢者に多い疾患を地域の病院が担っている

- ✓ 誤嚥性肺炎
- ✓ 尿路感染症
- ✓ 心不全
- ✓ 脳卒中
- ✓ 骨粗鬆症・大腿骨骨折など

地域包括ケアシステム

- 団塊の世代が75歳以上となる2025年を目途に、重度な要介護状態となっても住み慣れた地域で自分らしい暮らしを人生の最後まで続けることができるよう、**住まい・医療・介護・予防・生活支援が一体的に提供される地域包括ケアシステムの構築を実現**していきます。
 - 今後、認知症高齢者の増加が見込まれることから、認知症高齢者の地域での生活を支えるためにも、地域包括ケアシステムの構築が重要です。
 - 人口が横ばいで75歳以上人口が急増する大都市部、75歳以上人口の増加は緩やかだが人口は減少する町村部等、**高齢化の進展状況には大きな地域差**が生じています。
- 地域包括ケアシステムは、**保険者である市町村や都道府県が、地域の自主性や主体性に基づき、地域の特性に応じて作り上げていく**必要があります。



地域の病院の崩壊



地域包括ケアシステムの崩壊に つながる

東京都独自の入院基本料の創設

地域包括ケアシステムを支えるために

